

Building A Bridge of Friendship

ベースボールを通じて国際交流。
千葉ロッテマリーンズがチェコとの架け橋になる。



マリーンズの
ファンの皆さん、
お元気ですか？

PROFILE (左) ルカーシュ・エルコリ投手 | 1996年生まれ。チェコ野球協会PRマネージャー。WBC欧州予選もPRマネージャーとしてチームに帯同予定が、フランス戦に登板し勝利投手に。趣味はサーフィン、クロスカントリー。(中) バベル・ハジム監督 | 1971年生まれ。神経科医。ペフンスカー神経科医院長。現役時代はチェコ代表の外野手。2022年に代表監督に就任し、チームを史上初のWBC出場に導く。(右) マルティン・ムジーク選手 | 1996年生まれ。球場グラウンドキーパー兼コーチ。3月のWBC・中国戦では決勝ホームランを放ち、チェコ史上初となるWBCでの白星に貢献。『ザ・シンブソンス』好き。



WITH MANY THANKS from Czech Republic!

チェコ代表の3人が、ZOZOマリンで体験したこと、選手やファンのこと、今後の交流でやってみたいことなど、たくさん話してくれました！

—— 9月のヨーロッパ選手権は開催国として今までになく盛り上がったそうですね！

ハジム チェコでは延べ100万人以上が視聴し、スタンドも満員でした。成績は長年の夢であったメダルまで届かず5位でしたが、過去最高の観客動員数を記録できてよかったです。

エルコリ 僕は大会運営にも関わったのですが、ZOZOマリンでの体験のおかげで、花火やマスコット、MCを入れた応援などを試合に取り入れることができました。本当はピッチャーがリリーフカーに乗って登場するという演出もやってみたかったのですが(笑)。

—— ZOZOマリンでの観戦がいい記憶となった

よかったです。

ムジーク スタジアムの周りで我々に気づいてくれたマリーンズファンの皆さんにサインしたり、記念写真を撮ったりと、そういう経験ができたのも、選手冥利に尽きる思い出です。

ハジム あと、ライト外野席のファンの皆さんがとてつもなくすごかったですね！

エルコリ ZOZOマリンの応援の形をチェコファンにも導入したいと思い、ハジム監督の発案で、「ウルトラス」というチェコ代表の応援団も結成したんですよ。

ムジーク 応援の仕方によって選手のやる気も出てきますし、悪くなった空気も変えてくれます。マリーンズファンの皆さんの応援を見て、それが身をもって体験できました。

—— 選手たちとは何か交流はありましたか？

ムジーク 山口選手と野球談議ができました。ユニホームもゲット、チェコで着ているところをハジム監督にも見られています(笑)。あと、荻野選手からいただいたオギファームのさつまいもシェイクが美味しかったですね！

エルコリ 僕たちが訪れた日がブロッソー選手の入団会見のときだったのですが、日本に先に来た先輩として、日本人は優しいよとか、日本はいいところだよ、と少し上から目線でアドバイスさ

せていただきました(笑)。

—— スタジアムフードはどうでしたか？

エルコリ グルメ担当のムジークどうぞ。

ムジーク 3人ともそうだったと思うけど担々麺がとてもいい味をしていましたね。

エルコリ ハジム監督は人生で初めてラーメンを食べたんじゃないかな？

ハジム まさしくそうだね(笑)。

—— どこかほかには行きましたか？

ハジム パナソニックの工場を訪れたのですが、皆さん年齢層もバラバラだけど、みんな野球が好きっていうのはびっくりしました。

エルコリ 千葉の中学硬式野球チームの練習も見ましたが、子供たちが汗を流して頑張っていたのが忘れられないですね。一生懸命プレーして、夢を掴もうとしている姿に感銘を受けました。

ムジーク お互いのチームにはもちろん、審判や僕らにも、みんなに挨拶する礼儀正しさが印象に残っていますね。

ハジム ブルベンに9人もの左投げのピッチャーがいたのも驚きました。チェコでは左投げのピッチャーを揃えるのが大変なんです。

エルコリ だから、左投げの僕はチェコ代表に入れているんです(笑)。

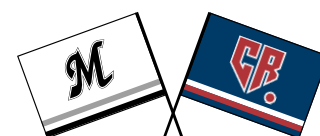
—— マリーンズとは今後どのような交流を？

ムジーク キャンプや練習を一緒にして、試合ができれば嬉しいですね。一緒にプレーして得たものをチェコの子供たちに伝えたいです。

ハジム コーチの派遣、スタッフ間の交流、交流試合。マリーンズの選手に我々の代表を誰か送り込めたいというのが夢ですね。

—— 選手をひとりチェコ代表にもらせるなら？

ハジム 第一巡選択希望選手は佐々木朗希投手です。佐々木投手が取れたら、ムジークとエルコリをそちらに送ります(笑)。



**MARINES-CZECH
BASEBALL BRIDGE
PROGRAMME**
supported by **Panasonic**

プラハに架かるカレル橋のように。

「マリーンズ-チェコ ベースボールブリッジプログラム supported by Panasonic HVAC Company」は、野球の楽しさをより多くの人と共有するためにチェコでの野球振興とスポーツを軸に文化交流を推進する、球団・企業・現地団体が連携して行う取り組みです。



先日行われたチェコでのソフトボール大会で、ハジム監督とエルコリ投手がマリーンズのユニホームを着用！